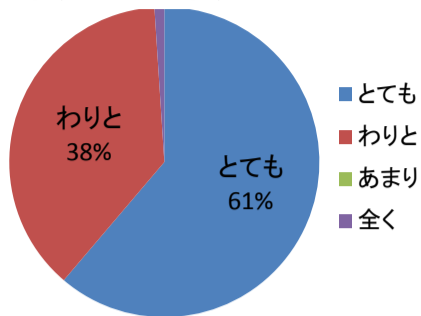


本事業で見られる子どもたちの姿【参加者アンケートより】

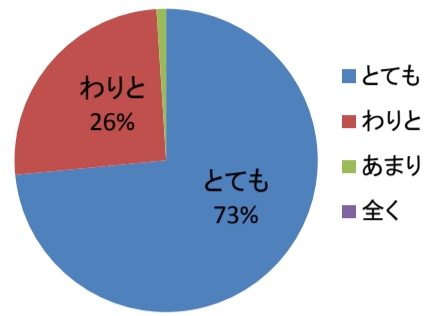
アンケート記入数 三方:31人 鯖江:35人 芦原:32人 計98人

1 自分のことは自分でできたか



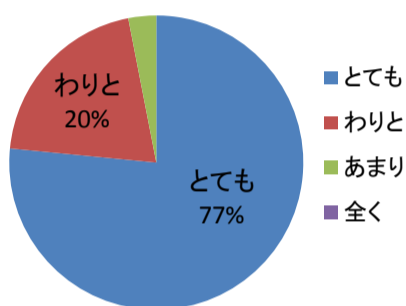
参加者のほとんどが「自分のことは自分でできた」と回答しています。本事業の趣旨の一つである「自主性を育む」プログラムを今後も積極的に取り入れていきます。

2 つらくてもやり通すことができたか



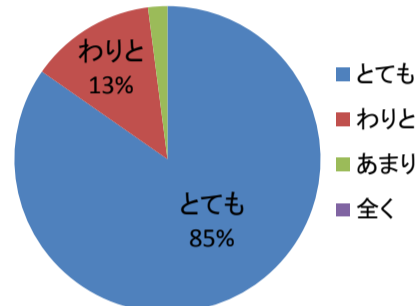
限られた日程の中にタイトなスケジュールが組み込まれているため、多少ハードでしたが、参加者の多くが充実感をもつことができました。

3 新しい友だちをつくることができたか



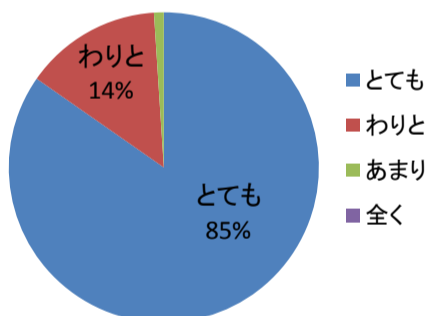
学校で人間関係構築の苦手な子が、様々な活動を通して、人との関わり方に自信を取り戻した例が見られました。各会場最終日の別れを惜しむ姿も印象的です。

4 友だちと協力して活動できたか



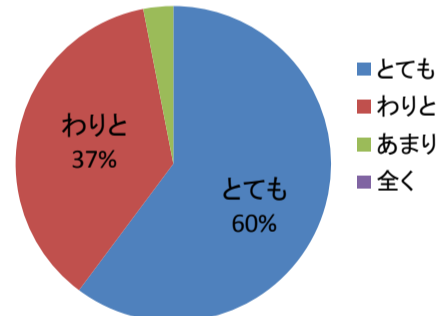
各会場のプログラムの多くが、「協力しないと成し遂げられない」活動です。参加者は活動を通して協力することの大切さを体感することができています。

5 友達と積極的に会話することができたか



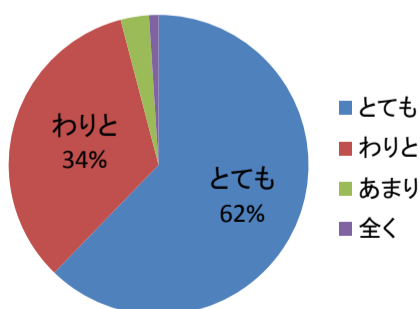
各会場で「仲間づくりゲーム」を最初に行っています。最初はよそよそしかった子どもたちも、自然と打ち解け、仲良く会話する姿が見られました。

6 先を見通して行動することができたか



それぞれのプログラムで見通しをもって活動できるよう声かけをしたり、「5分前行動」を意識づけたりしたことで、先を見通して行動する意識を高めることができました。

7 自然の美しさ、素晴らしさを感じる事ができたか



三方・芦原会場での「野鳥観察」や鯖江会場でのリース作りのための「つる採集」など、各会場周辺の豊かな自然を体感することができました。